



# Corporate Profile

積極自然復元システムによる、  
環境浄化、水資源活用のお手伝いー。  
それが、私たちの使命です。



「揺動床バイオフィリンジ」

「固着床バイオフィックス」

## あいさつ

中国は「開放政策」以来急激な産業拡大発展を遂げており、それに伴い生活環境が破壊されつつあります。

特に「きれいな水」は生活の基本的要素であるが、現状では「水不足」や「水質汚染」が進行しています。

これらの問題を解決するためには、従来の技術・考え方を超越した**高Q.C.P** (Quality Cost Performance)の革新技術の採用が急務です。

この目的に対し当社は全く発想の異なる高性能微生物保持材**BF**(Biofringe)、**BX** (Biofix)を開発しました。

このBF・BXの持つ**差別化革新効果**を基に、水処理の基本である「**自然の摂理の系内組入れ**」を最大限活用することで**水処理技術の可能性大幅拡大ー高Q.C.Pの積極自然復元システム**の構築が可能となりました。

これにより、生活水準の向上に寄与したいと考えます。

当社は「**中国は中国人の手で**」のモットーに、上記技術を**CJei** (China Japan Environmental Innovation)と名付け、信頼のおける現地エンジニアリング会社と提携し、**革新と信頼のブランド**として確立し新風を巻き起こすべく活動中です。

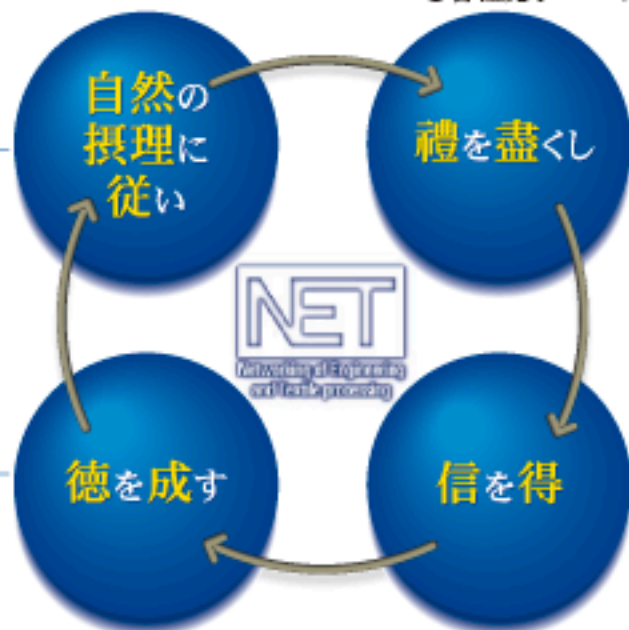
更に膨大な需要を背景にBFの**中国での連続一貫生産体制**を構築し、安定供給と大幅合理化により、事業を確固たるものとし、中国の発展に貢献したいと考えます。

エヌ・イー・ティ株式会社  
代表取締役社長  
小山 登一郎



NETの社是・理念

- 自然の摂理の系内組み入れ
- 生物処理が最も合理的  
生物処理で除去可能な基質の完全除去
- 新用途分野開発
- 繊維産業のポテンシャル活用
- 素材・処理条件 組み合わせ  
↓  
適性条件
- 各種廃水・ニーズへの適応



水環境の維持 改善  
水資源の活用  
||  
**社会の発展に貢献**

- 顧客満足度の高い技術提供
- ニーズ、用途にマッチした良好な水質
- 対投資効率が高い
- 長期間安定使用メンテナンスフリー

NETの体制



中国は中国人の手で

Cjeiブランド戦略

China and Japan Environmental Innovation

- 需要創造の可能性展開のための対中国ニーズ適合マーケティング戦略。
- 日中WinWin互惠関係の協力と信頼の証

The Only One in The World

①日本の成功ビジネスモデルの中国での再現

日本で**18年、400件以上**の実績があり、好評を得ている。  
この成功したシステムを中国に導入する為、**確実**。

②自然の摂理を活かした積極自然復元システムの実現

環境が自然の状態に保たれているのは、**微生物**のお陰であり、  
この働きを**系内組入れ**で最大限に活用する事から、  
**高(効率)、好(水質)、少(汚泥)、小(スペース)**が**達成**され、  
**高Q.C.P.(Quality Cost Performance)**の**積極自然復元システム**が実現。

③既成概念からの脱皮

従来技術と全く異なる**技術体系(地動説)**から、  
**既成概念からの脱皮**が前提。

④設計思想の一貫性

日中協業に当たり、設計(FS:基本、詳細)思想の一貫性が重要であり、  
**エンジニアリング会社との連携が必須**。

●FS:Feasibility Study

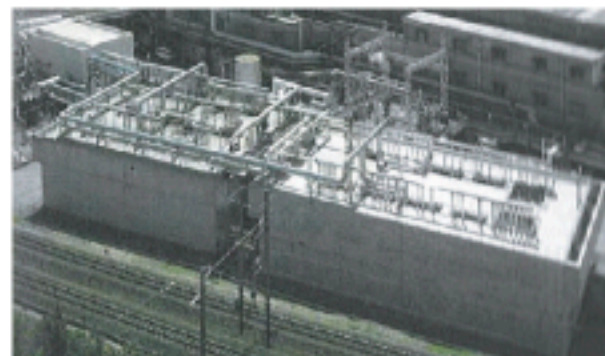
中国の水資源の活用と環境浄化

生活水準の向上

革新ビジネスモデルの成功例

東海バルブ株式会社

- 10年前から、3万m<sup>3</sup>×3回合計9万m<sup>3</sup>/日
- 直ぐ横を流れる清流“大井川”に放流。  
水質的に全く問題無い
- 近くを走るJR、付近民家からの苦情は一切無い
- メンテナンス容易 長期間安定



廃水処理設備



会社全景

パナソニック



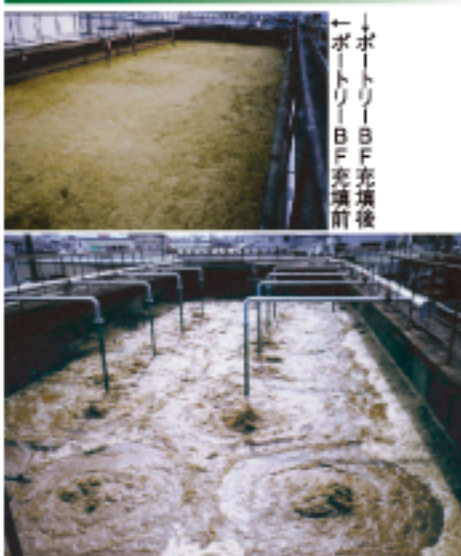
食堂廃水、一過処理、メンテフリー

朝日食品



豆腐廃水、BF充填後能力×3倍、汚泥減消

ポトリリー



N-hex 500mg/lで上部に大量スカム  
BF充填により解消、鶏糞体廃水(SBR式)

中国

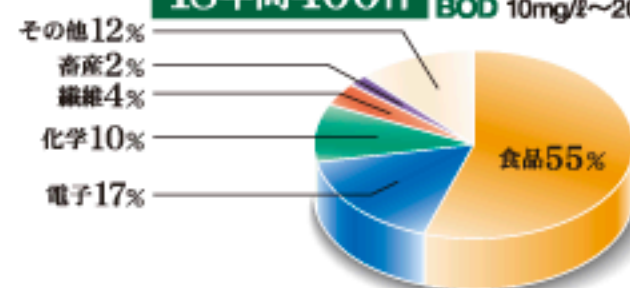
- 長興島韓国造船所 ) 生活汚水、1級Aクリア
- 領家鎮 )
- 大連京都庵 ) 食品
- 青島亀田製菓 )
- ハルビン森永乳業 )
- 半導体、液晶 ) 電子
- BMW瀋陽 ) 自動車

※その他、引合い件数多数  
(公共下水、郷鎮汚水、大型産業廃水、河川浄化)

会社沿革

- 昭和63年 9月/ 創業者の繊維加工技術と水処理技術の複合化活用及びこの仕事関連の協力者でのネットワーク展開を目指して設立
- 平成元年 11月/ 三菱商事株式会社委託契約「ダイヤパイプミキサー」の商品化を実施、更に廃水処理ユニット「DIA P&F」の開発等を担当、同時に「揺動床バイオフリンジ」を開発
- 平成 4年 4月/ 「揺動床バイオフリンジ」を発売
- 平成 6年 7月/ 委託契約解除、新たに三菱商事代理店契約締結
- 平成10年 5月/ 「バイオフィックス」開発開始
- 平成13年 9月/ 事務所移転、IT化対応を計る
- 平成14年 6月/ 「バイオフィックス」製造設備設置
- 平成14年10月/ 熊本大学教授工学博士 古川 憲治先生と技術コンサルタント契約を締結
- 平成15年 5月/ インキュベーション開発センター開設
- 平成16年 6月/ 関連会社「FK環境イノベーション株式会社」設立
- 平成17年10月/ 中国大連事務所開設
- 平成18年 8月/ FK環境イノベーション(株)大阪営業所閉鎖
- 平成18年10月/ 「バイオフィックス」生産開始
- 平成19年 8月/ 中国水処理市場へ本格参入
- 平成19年 9月/ 経営革新計画を兵庫県より取得
- 平成20年 4月/ 循環型化脱炭素、脱機技術実用化レベル達成 中国下水道に本格参入 国内大手下水道で検封開始
- 平成20年 6月/ 中国でBF生産HAULUN社と提携計画スタート
- 平成20年 7月/ 大連理工大学教授 楊 鳳林博士、同済大学教授 李 建華博士と技術コンサルタント契約を締結
- 平成22年 7月/ 編教授 社外重役就任

●販売先の業種別区分 18年間400件 水量 2m<sup>3</sup>/日~90,000m<sup>3</sup>/日 BOD 10mg/l~20,000mg/l



会社概要

- 設 立/昭和63年9月20日
- 資 本 金/1,000万円
- 事 業 内 容/1)「揺動床バイオフリンジ」の製造販売 2)「固着床バイオフィックス」の製造販売  
3) 各種水処理用繊維製接触材、資材の企画、開発、製造、販売 4) 水処理装置の企画、製造、販売  
5) その他水処理技術、繊維加工技術相互活用商品の開発、商品化
- 取 引 銀 行/ 尼崎信用金庫 多田支店、りそな銀行 川西北支店、三井住友銀行 川西支店、三菱東京UFJ銀行 伊丹支店
- 主要取引先/ 西原環境テクノロジー株式会社、エンバイロビジョン株式会社、東レ・テキスタイル株式会社、オルガノ株式会社、株式会社近畿環境技術センター、倉敷紡績株式会社、寿化工機株式会社、寿製機株式会社、有限会社三朋、水道機工株式会社、株式会社タクマ、巧水機株式会社、ダイキアックス株式会社、デンセン商事株式会社、トーセン株式会社、ドリコ株式会社、西草産業株式会社、化工機プラント環境エンジニアリング株式会社、株式会社バイオセル、野村マイクロサイエンス株式会社、パナソニック環境エンジニアリング株式会社、三鈴工業株式会社、三菱化学エンジニアリング株式会社、三菱化工機株式会社、三菱商事株式会社、三菱電機株式会社、三菱レイヨンエンジニアリング株式会社、和光技研株式会社、株式会社神鋼環境ソリューション、JFEエンジニアリング株式会社、エコ和歌山株式会社、エコーFRP工業株式会社、荏原環境エンジニアリング株式会社、株式会社東エンジニアリング 株式会社エイブル、関西ピージーエス株式会社、昭和環境システム株式会社、大日本インキ環境エンジニアリング株式会社、森産業株式会社、株式会社日立プラントテクノロジー、フジクリーン工業株式会社、株式会社パナソニックエコテクノロジーセンター、アイエフ産業株式会社



## エヌ・イー・ティ株式会社

ホームページ検索キーワード:**BFQCP**

**URL:**<http://www.fk-bio.net/>

**E-mail:**[net-bio@estate.ocn.ne.jp](mailto:net-bio@estate.ocn.ne.jp)

### 本社

〒666-0115 兵庫県川西市向陽台3丁目6番216  
TEL.072-792-5151 (代表) FAX.072-793-1351

### 大連事務所

中国遼寧省大連市沙河口区中山路553号  
和平現代城D座7-11室  
TEL.0411-8482-1297 FAX.0411-8482-1397  
e-mail:JPNETDL@yahoo.co.jp(日本語)  
JPNETDL@hotmail.com(中国語)

### 研究所

大連理工大学 環境と生命学院  
大連市中路158号  
TEL.0411-8470-6328 FAX.0411-8470-8083

### 分析センター

〒533-0032 大阪市東淀川区淡路3丁目13番21号  
(株)近畿環境技術センター内  
TEL.06-6321-2362 (代表) FAX.06-6323-6297

